

令和7年度 児童朝会 講話

■令和8年 3月23日 No.30「ことば5」

おはようございます。令和7年度の修了式です。校長先生は、1年間あつという間だったように思います。

まずは、「いいところみつけたよ♪22」です。パッケン清掃でがんばっているお友だちですが、そうじ終わりのチャイムが鳴っても一生懸命頑張っていたお友だちです。

授業中は、この1年間で本当によくつながって学べるようになってきました。しかも、最近ではお友だちどうしの距離がどんどん近くなってきたように思えます。ペアやグループでよく聴き合って学べるようになってきましたね。5年生の英語の授業では、英語でじゃんけんもしていましたよ。ちょっとみなさんもやってみましょう「Rock-Paper-Scissors」

そして、6年生が巣立っていきました。卒業式の準備では5年生がとてもよくがんばってくれました。きれいに椅子をならべたり、お掃除も流しのステンレスをピカピカに磨いてくれたり、階段の壁や、行動の入り口の床までしっかりふいてくれているお友だちもいました。5年生、6年生ともによく歌もうたい、呼びかけも上手にできました。良い卒業式ができました。

1年生が新入生のための歓迎の言葉のビデオをとっていました。1年生もよくがんばっていますね。

さて、言葉の話しの続きをしましょう。前回、北京原人がいた証拠は骨が見つかったことと話をしました。また、火を使っていた証拠は焚火のあとが残っているからと、では人類はじめての言葉を使っていた証拠は何でしょうか？というのが前回のお題でした。ヒントとして、猿人にくらべてとても頭が大きくなった、喉のかたちが複雑な音が出せるようになったことをあげました。もちろん、スマホもビデオカメラも無い時代に、どうやってしゃべっていたと言えるのでしょうか？

少し難しかったようで、皆さんも回答を悩んでいましたね。それでは、食べ物の視点から考えていきましょう。猿人は何を主に食べていたかという、果物、はっぱ、どんぐり、虫でした。肉は食べないのですが、ねずみやりすをときどき食べていたようです。

肉といえば現代のわれわれは牛や豚のお肉を食べていますが、なぜそれらを食べないのでしょうか？ラミダス猿人さんにインタビューしました。すると「そりゃあ、スーパーやお肉やさんもないから、肉は自分で動物をつかまえたときだけ食べられるだよ。だから、ねずみなどの小さな動物しか食べていないんだよ。」

ペキン原人さんにも聞いてみました。すると「わしらは、肉を食べてたぜ。火を使えるようになっていたから、毎日焼肉を食べていたんだぜ。」ねずみやりすの肉ですか？ときくと「いやいや、もっと大きいマンモスとかを捕まえていたぜ。」え？一人ではマンモス倒せないでしょ？「証拠のイラストをチャットGPTに描いてもらったぜ。」どうやって北京原人は大きなマンモスを倒したのでしょうか。少し周りのひとと聴き合ってみてください。



そう、グループで倒したのですね。ではここで、人類が最初にしゃべった言葉は何だったのか？（3月9日）の答えを考えます。「敵におそわれたとき」という回答がありましたが、ほぼ正解でしょう。ここまで考えたら「北京原人が言葉を使ってしゃべっていた証拠は？」のお題の答えまで見えてきましたね。グループで戦っていた→しゃべっていた→証拠として、マンモスの骨が、北京原人の近くで見つかったから、しゃべっていたと考えられています。

最後に人類が最初にしゃべった言葉（3月2日）

について考えてみましょう。ペキン原人は、マンモスをグループで捕まえに行きますが、いつもうまくいくとは限りません。逆にマンモスにやられそうになるときもあります。そんなとき、何と叫びますか？少し周りの人と聴き合ってみてください。

そう「助けて！」とさげびますよね。人はうまくいってるときもしゃべりますが、命の危険があるときにこそ「助けてー」などと叫ぶのではないのでしょうか？これが、人類が最初にしゃべった言葉の1つだと考えられています。

このことを、授業にあてはめて考えてみましょう。わかっているときよりも、わからないときにこそ「わからない」「おしえて」という声を出すことが大切ではないでしょうか？

でも、それらと言うのは恥ずかしいというお友達もいるかもしれません。でも、自分の命が危険なときに「助けてー」と言えない人はいないと思います。それらの言葉を言うのが恥ずかしいみなさん、お勉強がわからないときは「自分の命が危ない」と思って、がんばって4月から「わからない」「教えて」と言えるようになりましょう。

1年間、静かにお話を聞いていただきありがとうございました。それではみなさん、良い春休みをお過ごしください。4月にまた会いましょう。

今日も最後まで静かに話をきいていただき、ありがとうございました。